

URAシンポジウム 大学の研究経営システムの確立に向けて
～経営を担う・支える人材確保にどう取り組むか～

リサーチ・アドミニストレーター協議会の創設と 期待する取組み

(RA協議会 <http://www.rman.jp/>)

リサーチ・アドミニストレーター協議会 会長/ 金沢大学 学長
山崎 光悦

1. URAのためのネットワーク組織構築の意義
2. RA協議会設立の経緯
3. RA協議会の活動
4. 研究経営人材育成へ向けて

1.URAのためのネット ワーク組織構築の意義



大学等の教育研究機関の
国際競争力・社会的な存在価値の向上



研究戦略に基づく実行力のある研究体制・環境の構築
&
それを実現する組織体としての大学経営



研究を中心とした大学経営を支える新たな人材
URA

URAの育成・能力向上 課題共有・解決のための情報交換

実務者のネットワーク形成を、全国の各機関が組織的に支援していくことが必要

リサーチ・アドミニストレーター(RA) 協議会の発足

Open

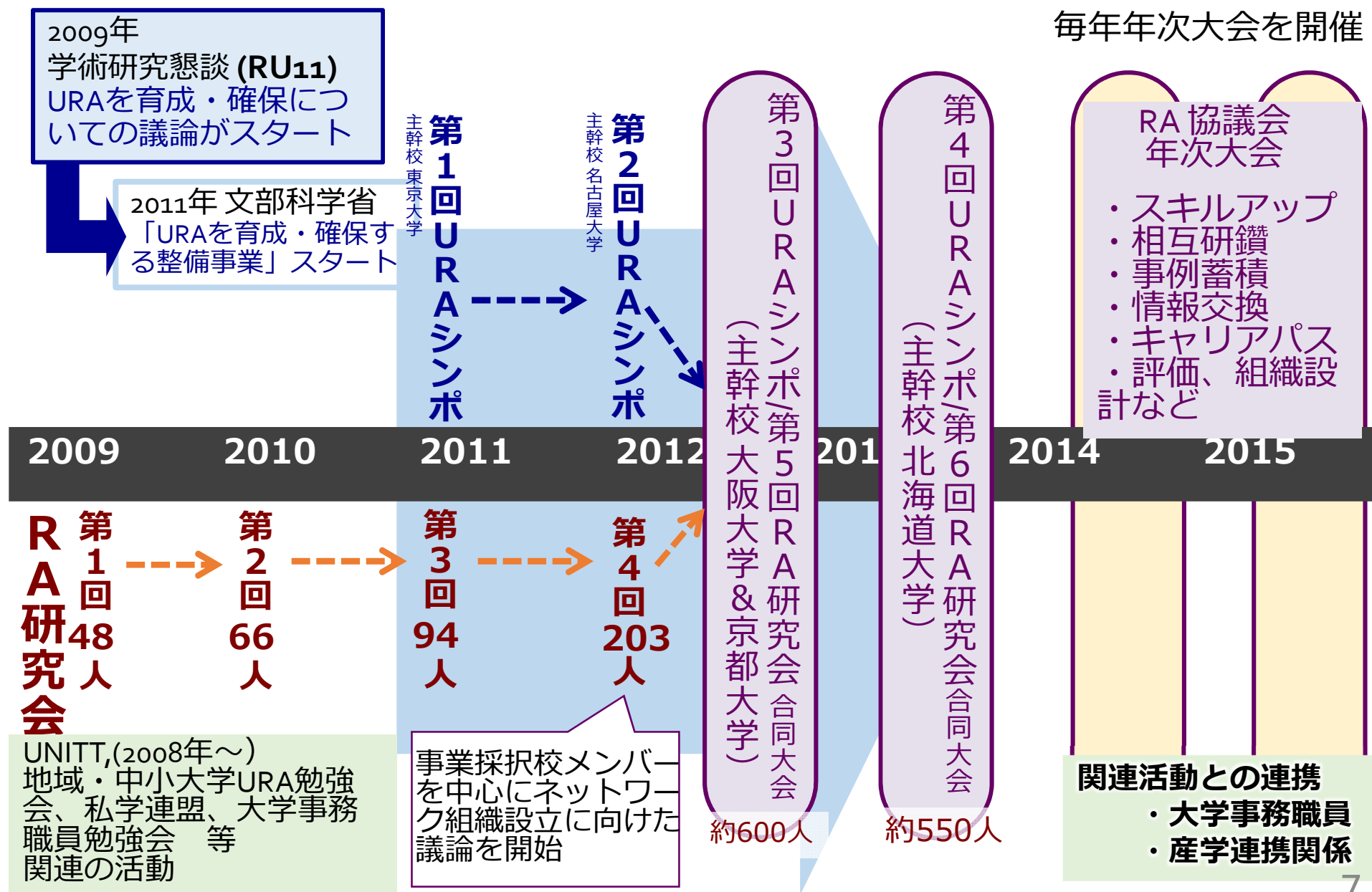
URAネットワーク組織

Closed

複数大学間の連携

2. RA協議会設立の経緯

RA協議会設立までの経緯

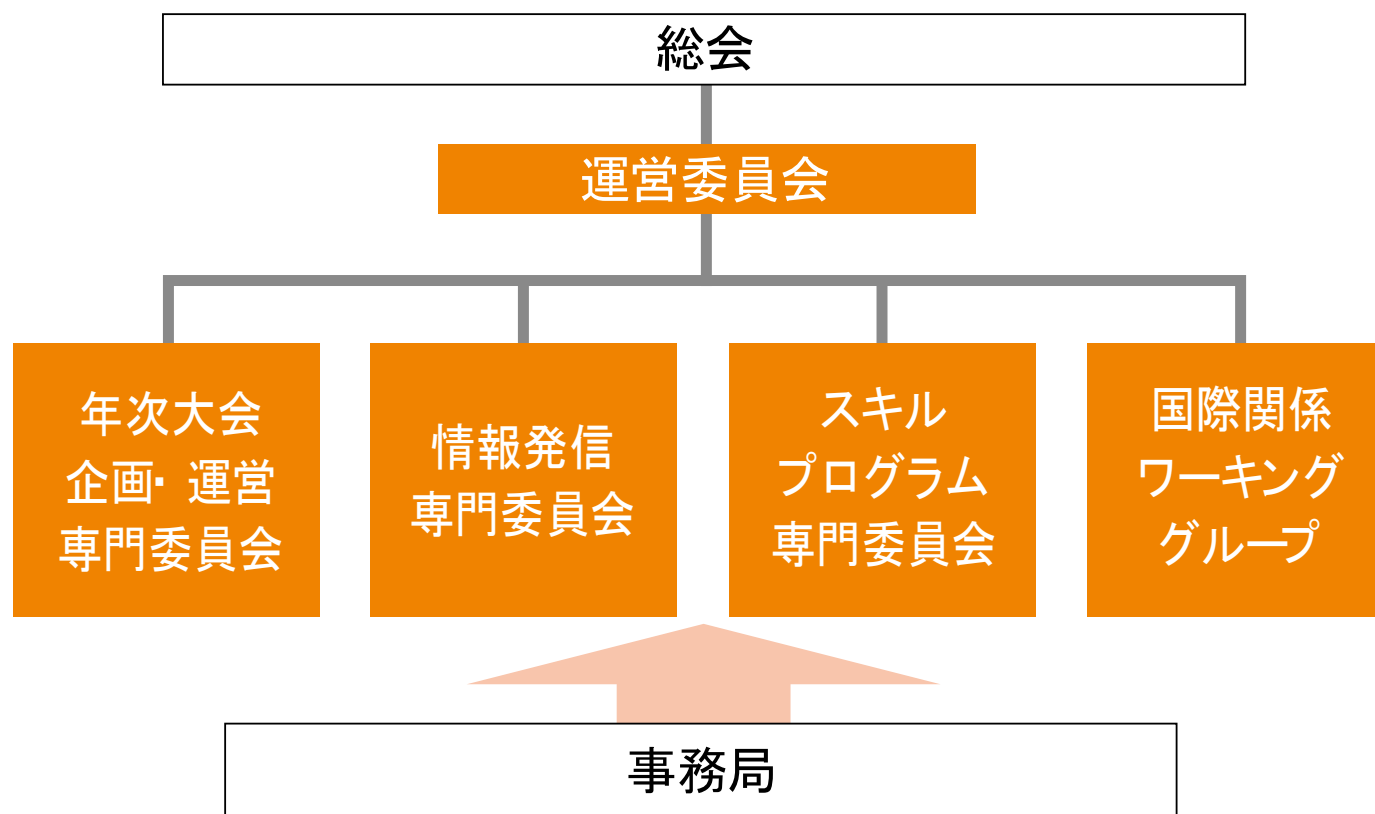


3. RA協議会の活動

RA協議会 事業内容

1. 本会会員間の業務連携に資する活動、全国的な体制の構築及び運営
2. 人材育成等を目的とした研究会、講習会の開催等、及び能力の認定
3. 大学等のリサーチ・アドミニストレーション業務に関する情報交換等の促進、情報発信
4. 国内外の諸団体等との連絡、交流、対話及び協力並びに提携
5. 大学等のリサーチ・アドミニストレーション業務の啓発及び普及活動
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

RA協議会 組織構成



各構成組織の事業概要

1. 運営委員会

- (1) 協議会組織強化に関する取り組み 財政面も含む)
- (2) 会員サービスの向上を目指した活動の計画立案
- (3) 我が国における RA 協議会の定着・展開に資する専門委員会活動の推進

2. 年次大会企画・運営専門委員会

- (1) 年次大会の企画運営
- (2) 次年度大会の運営体制の確定
- (3) スキルプログラムとの連携

3. 情報発信専門委員会

- (1) 活動全般を発信する Webコンテンツの企画編集
- (2) 内容の適否をチェックするレビュー機能

4. スキルプログラム専門委員会

- (1) 教育・研修プログラム、スキル標準を基に、将来的に資格認定につながるカリキュラムの検討
- (2) 教育・研修プログラムの企画実施

5. 国際関係ワーキンググループ

- (1) 海外 URA 組織との国際交流及び情報収集
- (2) 海外共同研究の促進や教育プログラムに関する連携の検討
- (3) 国内の研究支援活動の国際化支援

RA協議会会員 参加状況

組織会員

筑波大学
東京農工大学
金沢大学
福井大学
横浜国立大学
信州大学
京都大学
大阪大学
神戸大学

徳島大学
長崎大学
熊本大学
奈良先端科学技術大学院大学
首都大学東京
関西大学
沖縄科学技術大学院大学
情報・システム研究機構

賛助会員

エルゼビア・ジャパン
トムソン・ロイター
メディアフュージョン

平成28年3月現在

組織会員 **17機関** (215名)

個人会員 **94名**

全309名

RA協議会ウェブサイト <http://www.rman.jp/>

リサーチ・アドミニストレーター協議会参画のお願い

リサーチ・アドミニストレーター協議会会長 山崎 光悦

現在、我が国の学術研究において、国際競争力を有する大学・研究機関(以下「大学等」という)の層を厚くすることが強く求められ、関連の施策が進められています。教育基本法の改正で、社会的な活動もミッションとして位置付けられたように、大学等が国内外において、その社会的な存在価値を高めていくことが求められています。このような要求に応えていくためには、研究者の負担軽減に資する各種の支援業務を充実するとともに、長期的、かつ、幅広い視点を持って、研究戦略に基づく実効ある研究体制・環境を構築すること及びそれを実現する組織体としての大学経営を実施することが不可欠です。

[続きを読む »](#)

リサーチ・アドミニストレーター協議会 2016年度 年次大会のご案内（福井開催）

リサーチ・アドミニストレーター(RA)協議会 2016年度年次大会を、2016年9月1日（木）2日（金）の2日間、福井駅前A O S S Aで開催します。

年次大会特設サイトは [こちら](#) です

RA協議会第2回年次大会

受付開始 09:00 (木) ~ 終了 16:00 (金)
2016.9.1 ~ 9.2

開催場所：A O S S A 6F（福井市地域交流プラザ）
8F（福井県県民ホール）

対 象：URA業務従事者、大学などの管理者、
URAに関心のある方

スキルプログラム専門委員会

オプション教育研修プログラム開催のお知らせ
(2015. 07. 02)

(予告) オプション教育研修プログラムの開催
(2015. 07. 01)

シェア（みなさまから頂戴したイベント案内等）

シンポジウム「地方創生に資する日本型イノベーション・エコシステムの構築に向けて」の開催のお知らせ (2016. 02. 16)

委託調査研究URAシンポジウム「大学の研究経営システムの確立に向けて～経営を担う人材、経営を研究の側面から支える人材の育成確保にどう取り組むか～」の開催のお知らせ (2016. 02. 16)

【助成財団センター】 研究推進/支援担当者のための研修交流会 (2016. 01. 19)

米国URA団体 NCURA MagazineでRA協議会が紹介されました (2015. 12. 25)

「第2回大学のイノベーション経営システム確立推進フォーラム」開催のお知らせ (2015. 12. 09)

「大学のイノベーション経営システム確立推進フォーラム」のお知らせ (2015. 10. 23)

入会のご案内

組織会員一覧

筑波大学

東京農工大学

金沢大学

福井大学

横浜国立大学

信州大学

京都大学

大阪大学

神戸大学

徳島大学

長崎大学

熊本大学

奈良先端科学技術大学院大学

第1回RA協議会年次大会

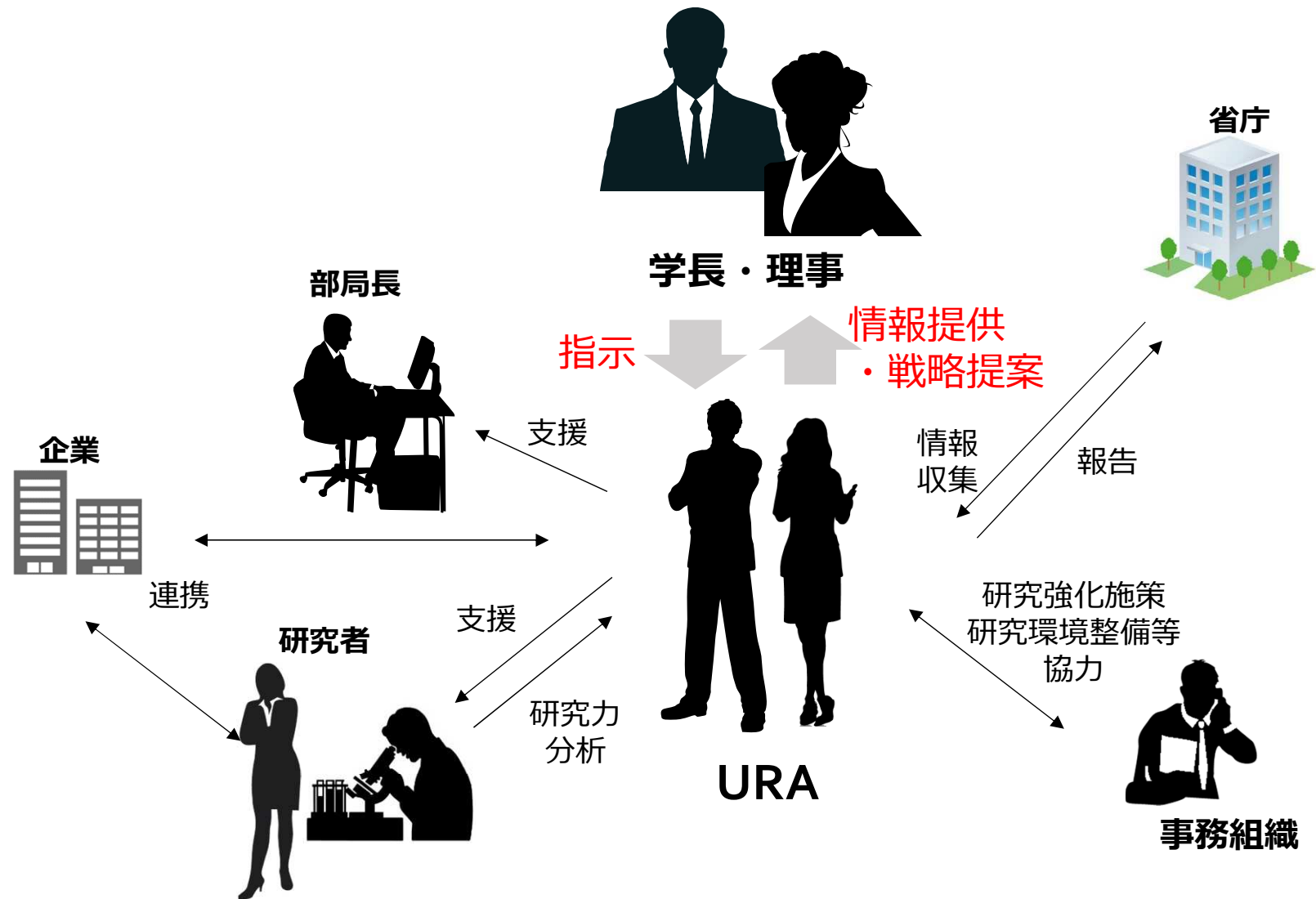
信州大学 長野キャンパス
2015年9月1日～2日



参加機関118, 参加人数419名

4. 研究経営人材育成へ向けて

URAの新たな可能性~研究経営とURA~



RA協議会でも新たなトピックとして取り上げていきたい

R A 協議会第 2 回年次大会

2016.9.1<sup>受付開始
09:00
(木)</sup> ~ 9.2<sup>終 了
16:00
(金)</sup>

開催場所：A O S S A 6 F（福井市地域交流プラザ）
8 F（ 福井県県民ホール ）

対 象 ： URA業務従事者、大学などの管理者、
URAに関心のある方

年次大会に関する情報は**こちらから**

↓ 随時更新

<http://www.rman.jp/meetings2016/blog/post-1.html>

参考資料

RA協議会の会員制度

会員種別(対象)	年会費	会員のメリット
組織会員 (大学・研究機関)	20万円	・1組織より1名の代議員をご登録いただき、RA協議会の運営に参画していただきます。 ・組織会員機関に所属する方がRA協議会の個人会員になる場合、年会費がお一人2千円となります。通常一人1万円に対し8千円の減額となります。現在のところこの割引について機関あたりの参加人数に制限はありません。 ・協議会活動を通じた高いPR効果が期待できます。 —WEBページに組織会員の紹介枠。 —年次大会受付付近にパンフ等設置。 ・会員向けWEBコンテンツの閲覧。(予定)
個人会員 (組織会員機関所属)	2千円	・年次大会の参加に際し、参加料の割引が適用されます(非会員1名様2万円のところを、5千円に割引いたします) ・分科会参加が可能で、URAに必要なマネージメントスキルの向上が期待できます。 ・会員のみのWEBコンテンツ(年次大会でのセッション発表資料など)の閲覧が可能です。 - その他検討予定の特典 ・研修参加費の割引
個人会員 (組織会員以外の機関に所属する方)	1万円	
賛助会員 (企業・関連団体)	50万円	・年次大会等で組織の事業PR可能です。 ・協議会のWEBサイトへバナーを設置します。 【内訳】 ・大会でのセッション枠 20万円 ・ブース出展代 20万円 ・広告掲示等 10万円 (大会プログラム冊子, WEB, ポスター掲示等)